

2021年12月度 大館市経済動向調査

2022年2月10日
大館商工会議所・大館北秋商工会・大館市

1. 調査の目的 大館商工会議所・大館北秋商工会・大館市が、市内の経済動向を把握するため調査を行い、業種別や課題別等の分析結果を公表することで、経営判断に活用していただくことを目的に実施する。
2. 調査期間 2022年1月11日（火）～1月20日（木）
3. 調査対象 大館市内の商工会議所及び商工会の会員事業所：120件
4. 調査回答率 回答数/調査対象数：95.0%
5. 調査方法 調査票をFAX及び郵送により送付し、FAXによる回答返信

～長期的見通しでコロナ禍終息への期待感が高まるも支援策が不足～

<大館市の状況>

長期的経営の見通しは事業規模拡大の回答が前回調査より増加した。年末時点で新型コロナウイルス感染症の拡大が落ち着いていたことから、コロナ禍終息への期待感が高まったためと思われる。

また、コロナ関連の支援施策に対して、要件緩和を求める声が複数あり、特に飲食業以外の業種からの支援策ニーズが多いことから、支援策の活用要件に該当しないものの、苦しい状況にある事業者への支援策が不足していると思われる。

<製造業>長期的な見通しの期待感が高く、設備投資に意欲的

長期的な見通しとして、現状維持が大半を占めるも、事業規模拡大との回答が前回調査より増加した。また、他の業種と比べ設備投資に意欲的な回答が多く、製造業全体の65.5%が設備投資を考えていると回答した。

<建設業>事業規模は維持が多数も業界全体で深刻な人手不足が続く

長期的な見通しでは82.1%が事業規模維持と回答するも、前回調査に引き続き、今後の課題として人手不足を上げる事業所数が全業種中で最も多い。事業者が考える人手不足の要因として、仕事内容が厳しい・労働環境が過酷だというイメージがあるのではないかという意見が多かった。

<卸売・小売業>年末需要の効果薄く、業種により明暗分かれ一部で長期見通しに期待感

年末需要による売上への影響は少なく、大半の事業者が横這いまたは減少と回答している。また業種により飲食料品を取り扱う事業者は長期的見通しも慎重である一方、それ以外の業種では一部で事業規模拡大と回答があり、アフターコロナを見据えて今のうちに設備投資などに取り組む事業者も見られた。

<観光・サービス業>支援施策活用で事業維持も依然として人流戻らず苦境続く

実質無利子の各種制度融資やコロナ対策の各種補助金活用により事業維持や一部で拡大を目指す事業所があるものの、人流が戻らず売上は横這いまたは減少が多数を占めた。なお、広告や販売、決済手段にICTを活用している事業所数は、全業種中で最も多く、63.3%の事業所が広告や販売にICTを活用していると回答した。